

藤田観光株式会社
2026 年 12 月期第 2 四半期(中間期)決算説明会 質疑応答要旨
2026 年 8 月 6 日(木)実施

【業績予想の修正について】

- Q: 通期業績予想については、上期実績の期初予想からの上振れを反映させたものか。
- A: 上期については、ADR(客室平均単価)の上昇などにより、想定を上回る結果であった。今回修正した通期業績予想については、期初予想から上期実績の上振れを反映させたものであり、下期については期初予想時点で ADR 上昇などを見込んだ数値としているため、期初予想を据え置いている。足元(3Q)の進捗も概ね予定通りである。
- Q: WHG 事業の数値が前回予想から増収額以上の増益額となっているが、その理由は。
- A: 上期での ADR 上昇が寄与しているとともに、当初計画よりコストの抑制が図れたことによるもの。

【WHG の客室改装について】

- Q: 昨年より複数事業所で改装を実施しているが、改装後の効果について聞かせてほしい。
- A: 改装後の客室については、付加価値を向上させることで、想定通りに ADR の上昇が図れている。下期についても改装後の施設については改装効果として、単価の上昇を見込んでいる。

【箱根のインバウンドの状況について】

- Q: 前年よりインバウンド比率が減少しているが、その要因は。
- A: 特に1Q において、箱根エリア全体で中国からの受客が減少したことと、中東情勢の影響によるキャンセルが発生したことによるもの。但し、2Q～3Q にかけてはその影響が薄まり、回復傾向である。
- Q: 箱根ホテル小涌園については、特に比率の減少が大きいが、日本人客獲得にシフトしているのか。
- A: 1Q については、インバウンド比率の減少に伴い、卒業旅行など日本人客を中心に受客していた時期はあるものの、インバウンドについても引き続き受客していく。

以上